

オペレーションマニュアル

 **NUENDO**
Premium Live Production System *live3*

Steinberg マニュアル制作チーム: Cristina Bachmann, Martina Becker, Heiko Bischoff, Lillie Harris, Christina Kaboth, Insa Mingers, Matthias Obrecht, Sabine Pfeifer

翻訳: Ability InterBusiness Solutions (AIBS), Moon Chen, Jérémie Dal Santo, Rosa Freitag, GiEmme Solutions, Josep Llodra Grimalt, Vadim Kupriianov, Roland Münchow, Boris Rogowski, Sergey Tamarovsky

このマニュアルは、目の不自由な方や視力の弱い方へのアクセシビリティに配慮しています。このマニュアルは複雑かつ多くの図が使用されているため、図の説明は省略されていることをご了承ください。

本書の記載事項は、Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。本書に掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合があります。本書で取扱われているソフトウェアは、ライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアの複製は、ライセンス契約の範囲内でのみ許可されます(バックアップコピー)。Steinberg Media Technologies GmbH 社の書面による承諾がない限り、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も記録、複製、翻訳することは禁じられています。本製品のライセンス所有者は、個人利用目的に限り、本書を1部複製することができます。

本書に記載されている製品名および会社名は、すべて各社の商標、および登録商標です。詳しくは、www.steinberg.net/trademarks をご覧ください。

© Steinberg Media Technologies GmbH, 2023.

All rights reserved.

Nuendo Live_3.0.0_ja-JP_2023-03-22

目次

4	はじめに
4	OS 共通のマニュアル
4	マニュアルの構成
5	表記規則
6	キーボードショートカット
6	Steinberg 社の Web サイトへのアクセス方法
7	Nuendo Live の設定
7	録音用に Nuendo Live を設定する
8	再生用に Nuendo Live を設定する
8	「設定 (Settings)」ダイアログ
12	ユーザーインターフェースの言語を切り替える
12	キーボードショートカット
13	プロジェクトの操作
13	プロジェクトファイル
13	「プロジェクト (Projects)」ダイアログ
15	新規空白プロジェクトを作成する
16	プロジェクトに関する情報
17	プロジェクトウィンドウ
18	ツールバー
22	情報ライン
23	トラックビュー
28	メータービュー
30	録音
30	数ステップのシンプルな録音
30	簡易録音
31	より複雑な録音の実行
31	「録音 (Record)」パネルを使用した録音
35	録音の保存先を変更する
36	連続したファイル番号の付与
36	プリレコードバッファ
37	MTC (MIDI Timecode)
38	録音の書き出し
40	マーカー
40	マーカートラックの表示/非表示
40	マーカーの追加
41	マーカーに名前を付ける
41	マーカーの移動
41	マーカーの削除
42	プロジェクトカーソルをマーカーに移動する
43	トラックの操作
43	トラックを選択する
44	トラック名を変更する
44	トラックとイベントの表示色の指定
44	トラックの追加
45	トラックのルーティングの変更
46	オーディオイベントの編集
46	グローバル編集
46	イベントの選択
47	イベントを分割する
47	イベント開始位置と終了位置のトリミング
47	範囲の選択
48	イベントと選択範囲の移動
48	イベントと選択範囲の複製

はじめに

本書は、Steinberg 製品である Nuendo Live のオペレーションマニュアルです。Nuendo Live は、ライブ録音を行なうエンジニアが素早く簡単に使用できる構成になっています。Nuendo Live のすべての機能について詳しく紹介しています。

OS 共通のマニュアル

このマニュアルには、Windows と macOS の両方のオペレーティングシステム用の内容が記載されています。

片方の OS でのみ使用できる機能や設定は、その旨が明記されています。記載がない場合は、Windows と macOS の両方に当てはまります。

注意事項:

- このマニュアルでは、Windows のスクリーンショットが使用されています。
- Windows の「**ファイル (File)**」メニューの機能の一部は、macOS のプログラム名メニューから選択できます。

マニュアルの構成

Steinberg のマニュアルでは、情報をその内容に応じて 3 種類のトピックに分類しています。

ユーザーインターフェースの説明

ユーザーインターフェース項目の機能、およびダイアログやパネルなどのその他の項目のオプションと設定を説明するトピック。

基本的な概念の説明

特定のソフトウェア機能の概念と機能を説明するトピック。

手順の説明

特定のタスクを実行するための段階的な手順を説明するトピック。これらのトピックでは、多くの場合、その手順を実行する理由について例を示し、注意すべき影響を含む、結果を簡単に説明します。

情報をこのように分類することで、Steinberg マニュアルの構成は最初から最後まで読まなければならないガイドとしてではなく、必要に応じて特定の情報や手順を参照できるリファレンスマニュアルとして機能するものになっています。

ヒント

説明のトピックにはタスクを実行する方法は記載されておらず、手順のトピックにはそれが何であるかの説明はありません。項目や概念に関する一般的な情報を探す場合は、「イベント」などの名前で検索することをおすすめします。特定の操作を実行するための手順を探す場合は、「録音する」などの関連する動詞を含めて検索することをおすすめします。

トピックの下部にあるリンクから関連コンテンツを参照できます。また、サイドバーは、マニュアル構成の中で近くにある関連トピックを確認するのに便利です。

表記規則

本書では、目的に応じて、構造上の要素やマークアップの要素を使用して情報を説明しています。

構造上の要素

前提

手順を開始する前に完了しておく必要があるアクションや条件を記述します。

手順

特定の結果を得るために必要な手順を示します。

重要

システムや接続されたハードウェアに影響を及ぼす問題、またはデータ損失のリスクを伴う問題など、重大な事項に関する情報を示します。

補足

その他の事項や関連情報を示します。

ヒント

役に立つ追加の情報を表示します。

例

例を示します。

結果

手順の結果を説明します。

手順終了後の項目

手順を実行したあとに行なう操作または必要事項を示します。

関連リンク

本書に記載のある関連トピックを示します。

マークアップ

太字はメニュー、オプション、機能、ダイアログ、ウィンドウなどの名前を示します。

例

「設定 (Settings)」 ダイアログを開くには、ツールバーの **「設定 (Settings)」** をクリックします。

太字が大なり記号で区切られている場合は、複数のメニューを連続で開くことを表わします。

例

「キーボードショートカット (Key Commands)」 ダイアログを開くには、**「ファイル (File)」** > **「キーボードショートカット (Key Commands)」** を選択します。

ファイル名やフォルダーのパスは異なるフォントで表示されます。

例

example_file.txt

キーボードショートカット

初期設定のキーボードショートカットの多くは修飾キーを使用しますが、修飾キーの一部はオペレーティングシステムによって異なります。

本書では、修飾キーを伴うキーボードショートカットを記述する場合、まず Windows の修飾キー、次に macOS の修飾キー、次にその他のキーの順に記載します。

例

[Ctrl]/[command]+[Z] と記載されている場合、Windows では **[Ctrl]** キー、macOS では **[command]** キーを押したままで **[Z]** キーを押すことを指しています。

Steinberg 社の Web サイトへのアクセス方法

「ヘルプ (Help)」メニューでは追加情報を確認できます。

このメニューには、Steinberg 社のさまざまな Web サイトへのリンクが表示されます。メニューを選択するとブラウザが自動的に開き、サポート情報、互換情報、FAQ、アップデート情報、ほかの Steinberg 製品の情報などを確認できます。このメニューを使用するには、コンピューターに Web ブラウザーをインストールし、インターネットに接続しておく必要があります。

Nuendo Live の設定

演奏を録音したり再生したりするには、Nuendo Live と他の機器 (オーディオインターフェースなど) の間の接続を確立し、再生の出力モードを選択してシステムを設定する必要があります。

重要

接続を行なう前に、すべての機器の電源をオフにしてください。

録音用に Nuendo Live を設定する

録音を開始する前に、「設定 (Settings)」ダイアログで ASIO ドライバーを選択して Nuendo Live をオーディオインターフェースに接続する必要があります。

前提条件

システムの機器間で物理接続を確立しておきます。詳細については、お使いのハードウェアのマニュアルを参照してください。

手順

1. Nuendo Live を起動します。
2. 「プロジェクト (Projects)」ダイアログで、「設定 (Settings)」をクリックします。
3. 「設定 (Settings)」ダイアログの「オーディオシステム (Audio System)」セクションで、ASIO ドライバーを選択します。
4. 必要に応じて、「オーディオポート (Audio Ports)」セクションで、使用しない入力ポートの「使用 (Use)」をオフにします。

新しいプロジェクトを作成すると、有効になっている入力ポート数と同数のトラックがトラックリストに追加されます。

補足

デジタル接続の際は、ミキシングコンソールをワードクロックマスターとして設定することをおすすめします。クロックマスターからワードクロックを受信して動作しているとき、Nuendo Live はオーディオデバイスのサンプリングレートを表示します。

手順終了後の項目

録音を開始します。

重要

パフォーマンスの低下や長時間録音中のスリープモードへの移行を防止するために、録音開始前にはコンピューターの省電力オプションをすべてオフにしてください。また、スクリーンセーバーをオフにすることもおすすめします。

関連リンク

[「プロジェクト \(Projects\)」ダイアログ \(13 ページ\)](#)

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)


[新規空白プロジェクトを作成する \(15 ページ\)](#)

[録音 \(30 ページ\)](#)

再生用に Nuendo Live を設定する

「設定 (Settings)」ダイアログの「出力モード (Output Mode)」セクションで、録音の再生を定義できます。

手順

1. ツールバーで「設定 (Settings)」をクリックします。
 2. 「設定 (Settings)」ダイアログの「出力モード (Output Mode)」セクションで、以下のいずれかのモードを選択します。
 - **マルチトラックモード (Multi Track Mode)**
録音した音声トラック個別に設定されたポートへ出力されます。このモードは、たとえばアーティストの演奏者がその場にはいないときにバーチャルサウンドチェックを行ないたい場合に使用できます。
 - **ステレオモード (Stereo Mode)**
すべてのトラックがステレオにミックスダウンされて出力されます。
- 補足
- 再生中に、情報ラインに表示される「ステレオ出力レベル (Stereo Output Level)」スライダーや、各トラックのトラックコントロール領域に表示される「ステレオミックスでの音量 (Volume in Stereo Mix)」スライダーおよび「ステレオミックスのパン (Pan in Stereo Mix)」ダイヤルを使用してミックスダウンを行なうことができます。
-
3. 必要に応じて、「コントロールパネル」をクリックして ASIO ドライバーの詳細設定を行ないます。
 4. 必要に応じて、「オーディオポート (Audio Ports)」セクションで、使用しない出力ポートの「使用 (Use)」をオフにします。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

[情報ライン \(22 ページ\)](#)


[ループ再生のサイクル範囲の設定 \(27 ページ\)](#)

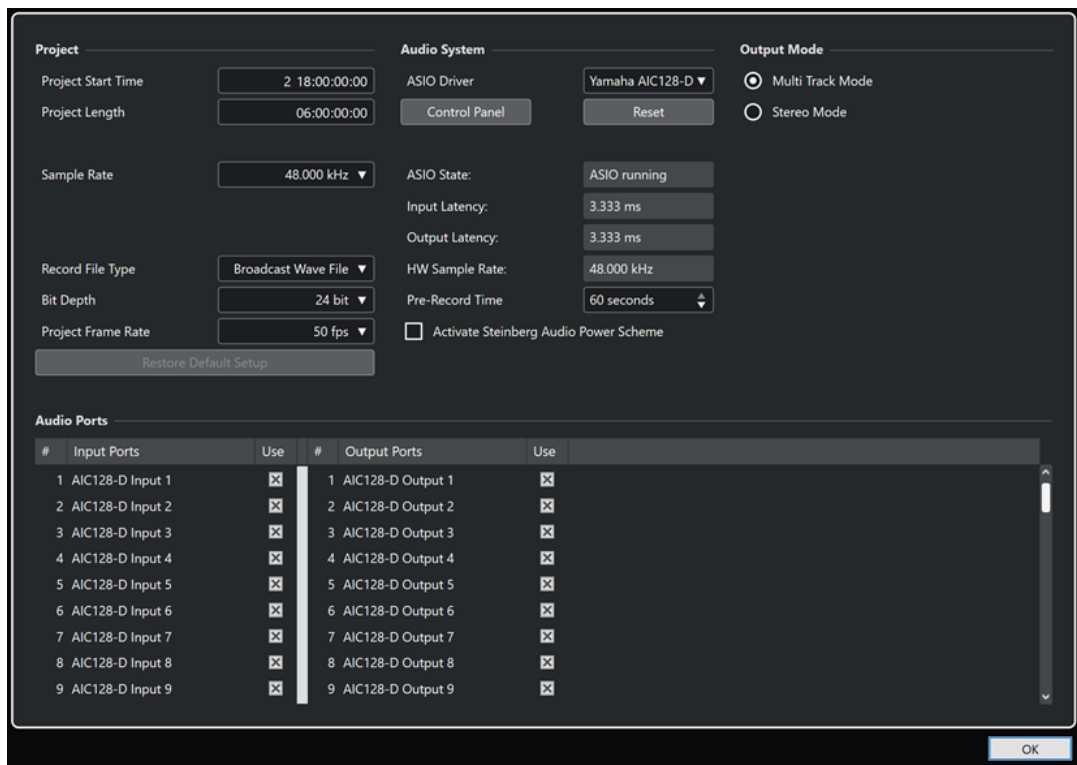
[範囲を再生から除外 \(27 ページ\)](#)

「設定 (Settings)」ダイアログ

「設定 (Settings)」ダイアログでは、Nuendo Live とコンピューターに接続されたオーディオデバイスを設定したり、録音時の出力モードを選択したりできます。プロジェクトが開かれている場合、プロジェクト固有の設定を行なうこともできます。

「設定 (Settings)」ダイアログを開くには、以下のいずれかの操作を行ないます。

- ツールバーで「設定 (Settings)」をクリックします。
- 「ファイル (File)」メニューを開き、「設定 (Settings)」を選択します。
- **[F2]** を押します。
- 「プロジェクト (Projects)」ダイアログで、「設定 (Settings)」をクリックします。



プロジェクト (Project)

このセクションでは、プロジェクト固有の設定を行なえます。

補足

プロジェクトが開いている場合、「プロジェクト (Project)」セクションは「設定 (Settings)」ダイアログにのみ表示されます。

スタートタイム (Project Start Time)

プロジェクトの開始時間を表示します。ここで指定する値が、ルーラーの開始値として表示されます。表示形式として、時間、分、秒、フレーム (HH:MM:SS:FF) を使用します。

長さ (Project Length)

プロジェクトのタイムラインの長さを表示します。表示形式として、時間、分、秒、フレーム (HH:MM:SS:FF) を使用します。

補足

録音時間がこの長さを超えると、プロジェクトの長さは自動的に伸びます。録音データが失われることはありません。

サンプリングレート (Sample Rate)

オーディオの録音、再生を行なう際のサンプリングレートを指定できます。

補足

このサンプリングレートはオーディオデバイスのサンプリングレートと一致している必要があります。

録音ファイル形式 (Record File Type)

Nuendo Live 録音のファイル形式を指定します。

補足

4GB を超える録音に対しては、EBU RIFF 64 規格が使用されます。FAT 32 ハードディスクを使用している場合は、オーディオファイルが自動的に分割されます。

以下のファイル形式を使用できます。

- 最もよく使われる形式は「**Broadcast Wave ファイル (Broadcast Wave File)**」です。この形式は、音質の劣化なしに、タイムコードポジションやアーティスト名などのメタデータを格納できます。
- 「**Wave ファイル (Wave File)**」を選択すると、録音したファイルを、Broadcast Wave ファイルをサポートしていないアプリケーションで使用できます。

補足

「**Wave ファイル (Wave File)**」を選択した場合、48kHz で 4 時間を超えるファイルは録音できません。

ビット解像度 (Bit Depth)

Nuendo Live で録音するオーディオファイルのビット解像度を指定できます。

- 「**16 bit**」にすると、ファイルサイズを小さくできます。非常に低い分解能でオーディオを録音すると、音質に影響する場合があります。
- 「**24 bit**」は、最もよく使われる解像度です。
- 「**32 bit float**」は、最も高い解像度でポストプロダクションを行なえます。この設定は、録音したファイルを Nuendo システムで処理する場合に使用できます。

フレームレート (Project Frame Rate)

プロジェクトのフレームレートを選択します。

プロダクション中に録音をビデオと同期するには、互換性のあるフレームレートを選択します。

初期設定に戻す (Restore Default Setup)

設定を初期設定に戻し、有効になっている入力ポートごとに 1 つずつオーディオトラックを割り当て、すぐに録音できる状態にします。有効な入力ポートの数によって、新しいトラックが作成されたり、余分なトラックが削除されたりします。

オーディオシステム

このセクションでは、録音に使用する ASIO ドライバーを選択および設定できます。

ASIO ドライバー (ASIO Driver)

ASIO ドライバーを選択できます。

コントロールパネル (Control Panel)

選択した ASIO ドライバーのコントロールパネルを開きます。使用できるオプションはオーディオデバイスによって異なります。

リセット (Reset)

ASIO ドライバーをリセットし、サウンドカードと Nuendo Live の通信を再確立します。

補足

オーディオシステムに関する問題が発生した場合は、このオプションを使用することをおすすめします。

ASIO の状況 (ASIO State)

ASIO ドライバーが適切に動作していない場合、エラーメッセージが表示されます。

入力のレイテンシー (Input Latency)

オーディオシステムの入力レイテンシーが表示されます。

出力のレイテンシー (Output Latency)

オーディオシステムの出力レイテンシーが表示されます。

HW サンプリングレート (HW Sample Rate)

オーディオデバイスのサンプリングレートが表示されます。

プリレコード時間 (Pre-Record Time)

トラックを録音可能にしたあとに、すべてのオーディオ入力自動的に記録されるプリレコードバッファのサイズを設定します。

Steinberg Audio Power Scheme を有効化 (Activate Steinberg Audio Power Scheme)

リアルタイム処理に影響を与えるすべての省電力モードをオフにします。

補足

これは、レイテンシーが非常に低い場合にのみ効果があり、コンピューターの消費電力が上がります。

出力モード (Output Mode)

このセクションでは、録音に使用する出力モードを選択できます。

マルチトラックモード (Multi Track Mode)

各オーディオトラックをサウンドカードの別々の出力ポートに送ります。

ステレオモード (Stereo Mode)

すべてのオーディオトラックをステレオにミックスダウンして出力します。情報ラインでステレオ出力レベルを設定できます。

補足

Nuendo のフル機能版でプロジェクトを開くと、**Stereo Mode** で指定されたレベルとパンの設定は Aux Send 1 に割り当てることができます。

オーディオポート

このセクションでは、録音に使用する入力ポートと再生に使用する出力ポートを指定できます。

入力ポート

録音に使用する入力ポートを設定できます。

- 「#」 コラム: ポート番号が表示されます。
- 「入力ポート (Input Ports)」 コラム: ポート名が表示されます。
- 「使用 (Use)」 コラム: 入力ポートの有効/無効を切り替えます。

補足

新しいプロジェクトを作成すると、有効になっている入力ポート数と同数のトラックが作成されます。

出力ポート

再生に使用する出力ポートを設定できます。

- 「#」 コラム: ポート番号が表示されます。
- 「出力ポート (Output Ports)」 コラム: ポート名が表示されます。
- 「使用 (Use)」 コラム: 出力ポートの有効/無効を切り替えます。

関連リンク

[「プロジェクト \(Projects\)」 ダイアログ \(13 ページ\)](#)

[プリレコードバッファ \(36 ページ\)](#)

[情報ライン \(22 ページ\)](#)

[トラックのルーティングの変更 \(45 ページ\)](#)

ユーザーインターフェースの言語を切り替える

「ファイル (File)」メニューからユーザーインターフェースの言語を切り替えることができます。

手順

1. 「ファイル (File)」メニューの「言語 (Language)」サブメニューから別の言語を選択できます。
 2. 変更を適用するには Nuendo Live を再起動する必要があります。
-

キーボードショートカット

Nuendo Live の多くの機能は、キーボードショートカットを使って操作できます。利用できるショートカットのリストは「キーボードショートカット (Key Commands)」ダイアログに表示されます。

- 「キーボードショートカット (Key Commands)」ダイアログを開くには、「ファイル (File)」 > 「キーボードショートカット (Key Commands)」を選択します。

補足

キーボードショートカットの追加や編集はできません。

プロジェクトの操作

Nuendo Live の録音はプロジェクトとして保存されます。

保存したプロジェクトをあとから再び開いて録音を続行したり、プロジェクトを編集したりできます。また、保存したプロジェクトを新しいプロジェクトのテンプレートとして使用することもできます。

「**設定 (Settings)**」ダイアログでは、サンプリングレートやビット解像度など、プロジェクト固有の設定を行なえます。

関連リンク

[プロジェクトファイル \(13 ページ\)](#)

[「プロジェクト \(Projects\)」ダイアログ \(13 ページ\)](#)

[プロジェクトテンプレート \(15 ページ\)](#)

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

プロジェクトファイル

プロジェクトファイルには、録音中に作成されたデータが含まれます。

プロジェクトは、Nuendo Live のメインウィンドウである**プロジェクトウィンドウ**で開きます。

- Nuendo Live プロジェクトファイルのファイル名の拡張子は `.nlpr` です。
- 一度に開けるのは 1 つのプロジェクトだけです。
- Nuendo Live のプロジェクトファイルは Nuendo 5.5.4 以上で開けます。

補足

Nuendo (`.npr`) または Cubase (`.cpr`) で作成したプロジェクトファイルを Nuendo Live で開くことはできません。

関連リンク

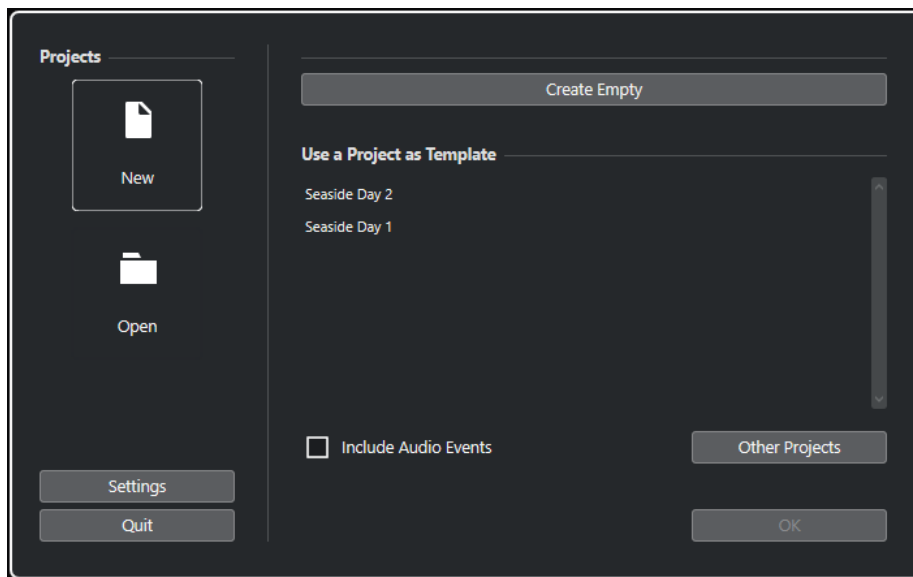
[プロジェクトウィンドウ \(17 ページ\)](#)

「プロジェクト (Projects)」ダイアログ

Nuendo Live を開くか、プロジェクトを閉じると、「**プロジェクト (Projects)**」ダイアログが表示されます。既存のプロジェクトを開いたり、新しいプロジェクトを作成したりできるほか、既存のプロジェクトをテンプレートとして使用して、新しいプロジェクトを作成することもできます。

新規 (New)

新規プロジェクトを作成できます。



空白のプロジェクトを作成 (Create Empty)

新規空白プロジェクトを作成します。

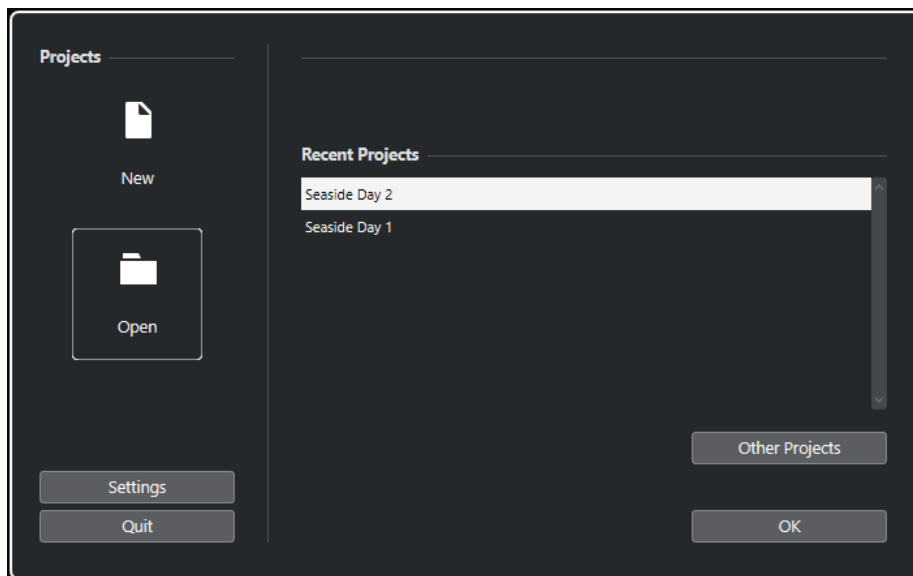
プロジェクトをテンプレートとして使用 (Use a Project as Template)

下のリストから選択したプロジェクト、または「その他のプロジェクト (Other Projects)」をクリックして選択したプロジェクトと同じ設定で新しいプロジェクトを作成します。

「オーディオイベントを含める (Include Audio Events)」をオンにすると、元のプロジェクトすべてのオーディオイベントが新しいプロジェクトに使用されます。元のプロジェクトのオーディオイベントが参照されます。元のプロジェクトが変更されることはありません。

開く (Open)

既存のプロジェクトを開くことができます。



最近使用したプロジェクト (Recent Projects)

最近使用したプロジェクトを選択できます。

その他のプロジェクト (Other Projects)

ファイルシステムからプロジェクトを選択できます。

一般的なコントロール

設定 (Settings)

「設定 (Settings)」ダイアログを開きます。

終了 (Quit)

Nuendo Live を閉じます。

関連リンク

[プロジェクトファイル](#) (13 ページ)

[新規空白プロジェクトを作成する](#) (15 ページ)

[プロジェクトテンプレート](#) (15 ページ)

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ](#) (8 ページ)

新規空白プロジェクトを作成する

「プロジェクト (Projects)」ダイアログを使用して新規空白プロジェクトを作成できます。

前提条件

Nuendo Live を起動し、プロジェクトの要件に従って、「設定 (Settings)」ダイアログでパラメーターを設定しておきます。

手順

1. 「プロジェクト (Projects)」ダイアログで「新規 (New)」を選択し、「空白のプロジェクトを作成 (Create Empty)」をクリックします。
2. ファイルダイアログで、新しいプロジェクトを保存するフォルダーを選択して「フォルダーの選択 (Select Folder)」をクリックします。

結果

プロジェクトファイルと必要な録音フォルダーがプロジェクトフォルダー内に作成されます。フォルダー名がプロジェクト名として使用されます。Nuendo Live にプロジェクトが表示されます。有効な入力ポート 1 つにつき、トラックが 1 つ作成されます。

手順終了後の項目

録音フォルダーのファイルパスは、プロジェクトフォルダー以外の場所にも変更できます。これは、プロジェクトの保存場所の空き領域が不足している場合などに便利です。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ](#) (8 ページ)

[録音の保存先を変更する](#) (35 ページ)

[別のプロジェクトをテンプレートとして使用してプロジェクトを作成する](#) (16 ページ)

プロジェクトテンプレート

既存の Nuendo Live プロジェクトを新しいプロジェクトのテンプレートとして使用できます。

すべての Nuendo Live プロジェクトをテンプレートとして使用できます。プロジェクトをテンプレートとして使用すると、新しいプロジェクトには元のプロジェクトのすべての設定 (トラック名やトラックカラーなど) が使用されます。空のプロジェクトを作成するか、元のプロジェクトのオーディオファイルも使用するかを設定できます。後者の場合、新しいプロジェクトでは、元のプロジェクトのオーディオファイルが参照されます。元のプロジェクトとそのオーディオファイルが変更されることはありません。

ヒント

特定のプロジェクトをテンプレートとしてよく使用する場合は、それらのプロジェクトのコピーをコンピューター上の専用フォルダーに保存することをおすすめします。

関連リンク

[別のプロジェクトをテンプレートとして使用してプロジェクトを作成する \(16 ページ\)](#)

別のプロジェクトをテンプレートとして使用してプロジェクトを作成する

既存の Nuendo Live プロジェクトを新しいプロジェクトのテンプレートとして使用できます。

手順

1. 「プロジェクト (Projects)」ダイアログで、左コラムの「新規 (New)」を選択します。
 2. 元のプロジェクトのオーディオイベントを新しいプロジェクトで使用するには、「オーディオイベントを含める (Include Audio Events)」をオンにします。
 3. 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - 最近使用したプロジェクトのリストからプロジェクトを選択して「OK」をクリックします。
 - 「その他のプロジェクト (Other Projects)」をクリックし、「テンプレートを開く (Open Template)」ファイルダイアログで Nuendo Live プロジェクトのファイルを選択して「開く (Open)」をクリックします。
 4. 「プロジェクトフォルダーを設定 (Set Project Folder)」ファイルダイアログで、新しいプロジェクトを保存するフォルダーを指定して「フォルダーの選択 (Select Folder)」をクリックします。
-

結果

「名称未設定」という名前の新規プロジェクトが作成されます。新規プロジェクトは選択した元のプロジェクトがベースになっており、対応するトラックと設定が含まれています。「オーディオイベントを含める (Include Audio Events)」をオンにすると、オリジナルのタイムポジションにある元のプロジェクトのオーディオイベントが参照されます。

関連リンク

[プロジェクトテンプレート \(15 ページ\)](#)

[「プロジェクト \(Projects\)」ダイアログ \(13 ページ\)](#)

プロジェクトに関する情報

Nuendo Live では、以下の 2 種類の方法でプロジェクトに関する情報を保存できます。

- 「録音 (Record)」パネルを使用すると、プロダクション名、アーティスト名、エンジニア名、ディレクター名などのメタデータを保存できます。「録音 (Record)」パネルを開くには、ツールバーで「録音パネル (Record Panel)」をクリックします。
- ノートパッドを使用すると、プロジェクトに関する詳細情報の入力と保存ができます。ノートパッドを開くには、メニューバーで「プロジェクト (Project)」>「ノートパッド (Notepad)」を選択します。

関連リンク

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

[ツールバー \(18 ページ\)](#)

プロジェクトウィンドウ

プロジェクトウィンドウには、プロジェクトの概要が表示されます。ここでは、特定の位置への移動、入力チャンネルのレベルのモニタリング、および編集操作が行なえます。

プロジェクトウィンドウにはツールバーと情報ラインがあり、それぞれのタブを選択することで**トラックビュー**と**メータービュー**を切り替えることができます。初期設定では、プロジェクトを開くか新規作成すると「**トラックビュー (Track View)**」タブが表示されます。

補足

また、**[Alt]+[V]** を押して「**トラックビュー (Track View)**」タブと「**メータービュー (Meter View)**」タブを切り替えることもできます。



プロジェクトウィンドウで**トラックビュー**を選択した状態

1 ツールバー

主なダイアログ、メニュー、編集ツールやオプション、トランスポートコントロールにアクセスできます。

2 情報ライン

プロジェクトに関する情報が表示されます。

3 トラックビュー (Track View)

このタブには、トラックリストとイベントディスプレイが表示されます。メーターブリッジでは、入力チャンネルのレベルをモニタリングできます。

4 メータービュー (Meter View)

このタブにはプロジェクトの全トラックの録音パネルとメーターが表示されるため、入力チャンネルのレベルをモニタリングできます。

関連リンク

[ツールバー \(18 ページ\)](#)

[情報ライン \(22 ページ\)](#)

[トラックビュー \(23 ページ\)](#)

[メータービュー \(28 ページ\)](#)

ツールバー

ツールバーからは、主なダイアログ、メニュー、編集ツールやオプション、トランスポートコントロールにアクセスできます。

- ツールの表示/非表示を切り替えるには、ツールバーの何もない箇所を右クリックしてツールバーのコンテキストメニューを開き、表示するツールをオンにします。すべてのツールを表示するには、「すべて表示 (Show All)」を選択します。

補足

表示される項目の数も、プロジェクトウィンドウのサイズとスクリーン解像度によって変わります。

以下のオプションを使用できます。

プロジェクト設定 (Project Settings)

設定 (Settings)



「設定 (Settings)」ダイアログを開きます。

左の分割線 (Left Divider)

左の分割線

分割線の左に配置されたツールが常に表示されます。

ツールボタン (Tool Buttons)

オブジェクトの選択 (Object Selection)



イベントを選択します。

範囲選択 (Range Selection)



範囲を選択します。

イベントカラー (Event Colors)

選択したトラックまたはイベントのカラーを選択 (Select Color for Selected Tracks or Events)



「色付け (Colorize)」パネルを開いて、選択したトラックまたはイベントにカラーを付けます。

オートスクロール (Auto-Scroll)

オートスクロール (Auto-Scroll)



再生中、プロジェクトカーソルを常に表示します。

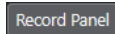
オートスクロール設定を選択 (Select Auto-Scroll Settings)



「ページのスクロール (Page Scroll)」または「カーソルを中央に表示 (Stationary Cursor)」をオンにして、「編集中はオートスクロール機能を停止する (Suspend Auto-Scroll When Editing)」をオンにできます。

録音パネル (Record Panel)

録音パネル (Record Panel)



「録音 (Record)」パネルを別ウィンドウで開きます。

マーカー (Markers)

マーカー 1 ~ 4 にジャンプ (Jump to Marker 1 - 4)/マーカー位置へ (Locate Marker)



1 ~ 4 のマーカー位置を設定し、移動できます。「マーカー位置へ (Locate Marker)」を使用すると、これ以外のマーカー位置にプロジェクトカーソルを移動できます。

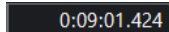
ロケーター (Locators)

左ロケーター位置へ移動 (Go to Left Locator Position)



左ロケーター位置へ移動できます。

左ロケーター位置 (Left Locator Position)



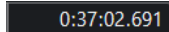
左ロケーター位置を表示します。

右ロケーター位置へ移動 (Go to Right Locator Position)



右ロケーター位置へ移動できます。

右ロケーター位置 (Right Locator Position)



右ロケーター位置を表示します。

トランスポートコントロール (Transport Controls)

前のマーカー/プロジェクト開始位置へ移動 (Go to Previous Marker/Zero)



プロジェクトカーソルを前のマーカー、またはタイムライン上のゼロの位置に移動します。

次のマーカー/プロジェクト終了位置へ (Go to Next Marker/Project End)



プロジェクトカーソルを次のマーカー、またはプロジェクト終了位置に移動します。

巻き戻し (Rewind)



巻き戻します。

高速早送り (Fast Forward)



早送りします。

サイクルをオン (Activate Cycle)



サイクルモードのオン/オフを切り替えます。

停止 (Stop)



再生を停止します。

開始 (Start)



再生を開始します。

録音 (Transport Record)



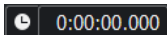
録音モードのオン/オフを切り替えます。

タイムディスプレイ (Time Display)

タイムフォーマットを選択 (Select Time Format)

タイムフォーマットを選択できます。

タイムディスプレイ (Time Display)



プロジェクトカーソルの位置を、選択されたタイムフォーマットで表示します。

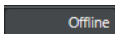
MTC

MTCを使用 (Use MTC)



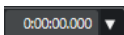
MIDI タイムコード情報の記録をオン/オフにします。

タイムコード状況 (Timecode State)



MIDI タイムコードの状況が表示されます。

受信タイムコード (Incoming Timecode)



MIDI タイムコードの状況が表示されます。左側の三角形をクリックしてタイムコードソースを選択します。

オーディオパフォーマンスメーター (Audio Performance Meter)

オーディオパフォーマンスメーター



上のバーには、現在のリアルタイムピーク負荷が表示されます。下のバーには、ディスクエンジンのハードディスクの転送負荷が表示されます。

リアルタイムピークと ASIO-Guard の負荷を詳細に表示するには、オーディオパフォーマンスメーターをクリックして「オーディオパフォーマンス (Audio Performance)」パネルを開きます。

現在の「平均パフォーマンス負荷 (Average Performance Load)」および「ディスクキャッシュロード (Disk Cache Load)」を表示します。ディスプレイをダブルクリックすると別ウィンドウで開きます。

右の分割線 (Right Divider)

右の分割線

分割線の右に配置されたツールが常に表示されます。

関連リンク

[プロジェクトウィンドウ \(17 ページ\)](#)

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

[イベントの選択 \(46 ページ\)](#)

[トラックとイベントの表示色の指定 \(44 ページ\)](#)

[オートスクロール設定メニュー \(26 ページ\)](#)

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

[プロジェクトカーソルをマーカーに移動する \(42 ページ\)](#)

[MIDI タイムコード情報を含む録音 \(37 ページ\)](#)

[「オーディオパフォーマンス \(Audio Performance\)」パネル \(21 ページ\)](#)

ツールバーの左右の分割線

ツールバーの左右の分割線を使用すると、ツールバーの左右に特定のツールが常に表示されるように位置を固定できます。

その他のすべての項目はツールバーの中央に表示されます。プロジェクトウィンドウの幅を狭くした場合、これらのツールバー項目が順に非表示になります。幅を広げるとふたたび表示されます。

関連リンク

[プロジェクトウィンドウ \(17 ページ\)](#)

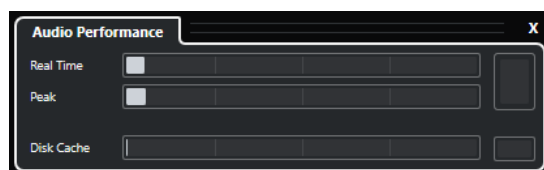
[ツールバー \(18 ページ\)](#)

「オーディオパフォーマンス (Audio Performance)」パネル

「オーディオパフォーマンス (Audio Performance)」パネルには、オーディオ処理の負荷とハードディスクの転送速度が表示されます。これにより、トラック数が非常に多い場合やバッファサイズが小さい場合に、パフォーマンスの問題が生じていないかを確認できます。

「オーディオパフォーマンス (Audio Performance)」を開くには、以下のいずれかの操作を行ないます。

- メニューバーの「プロジェクト (Project)」 > 「オーディオパフォーマンス (Audio Performance)」を選択します。
- ツールバーのオーディオパフォーマンスメーターディスプレイをダブルクリックします。



リアルタイム (Real Time)

すべてのオーディオリアルタイム処理の平均負荷が表示されます。

ピーク (Peak)

オーディオエンジンのリアルタイムバスにかかっている処理の負荷を示します。この値が高いほど、ドロップアウトが発生するリスクが高まります。

処理の過負荷 (Processing Overload)

過負荷インジケータはドロップアウトを示します。ドロップアウトは、処理負荷が 100% を超えた場合や、処理遅延が大きすぎることを内部検出したことでオーディオエンジンが再起動された場合に発生します。これは、たとえばリアルタイム負荷が限界を超えた結果、前処理バッファが空の状態で行われた場合などに起こる可能性があります。

ヒント

過負荷インジケータが点灯した場合は、バッファサイズを大きくするか、同時に録音または再生するオーディオチャンネルを少なくすることをおすすめします。

ディスクキャッシュ (Disk Cache)

ハードディスクの転送負荷を示します。

ディスクキャッシュ過負荷 (Disk Cache Overload)

ハードディスクのデータ供給速度が十分でない場合は、「disk」インジケータの右側にある過負荷インジケータが点灯します。

情報ライン

情報ラインにはプロジェクト関連の情報が表示されます。表示されるパラメーターのいくつかは「設定 (Settings)」ダイアログで変更できます。

残り録音時間 (Max. Record Time)

Max. Record Time 7 hours 15 mins

ハードディスクの空き領域を使って現在のプロジェクト設定で録音した場合に録音を行なえる最大時間を表示します。

録音形式 (Record Format)

Record Format 48 kHz - 24 bit

Nuendo Live で録音するオーディオファイルのサンプリングレートとビット解像度を表示します。このフィールドをクリックすると、「設定 (Settings)」ダイアログでこれらの値を変更できます。

プリレコード秒 (Pre-Record Seconds)

Pre-Record Seconds 10

トラックを録音可能にしたあとに、すべてのオーディオ入力自動的に記録されるプリレコードバッファのサイズを秒単位で表示します。このフィールドをクリックすると、「設定 (Settings)」ダイアログでこの値を変更できます。

録音フォルダー (Record Folder)

Record Folder D:\Projects\Nuendo Live 3\Audio

録音を保存するフォルダーのパスを表示します。このフィールドをクリックすると、録音の保存先を変更できます。

フレームレート (Project Frame Rate)

Project Frame Rate 59.94 fps

プロジェクトのフレームレートを表示します。このフィールドをクリックすると、「設定 (Settings)」ダイアログでこの値を変更できます。

出力モード (Output Mode)

Output Mode Multi Track

マルチトラックモード (Multi Track Mode)

Output Mode Stereo

ステレオモード (Stereo Mode)

ステレオモードでは、スライダーを使用してステレオダウンミックスの出力レベルを設定できます。このフィールドをクリックすると、「設定 (Settings)」ダイアログで出力モードを変更できます。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

トラックビュー

「トラックビュー (Track View)」タブを選択すると、トラックリストとイベントディスプレイが表示されます。メーターブリッジでは、チャンネルのレベルをモニタリングできます。



トラックリスト

プロジェクトの全トラックを表示します。トラックは個別に操作できます。

オーディオトラック上部のマーカートラックは、表示/非表示を切り替えることができます。

グローバルコントロール

144 M S 20

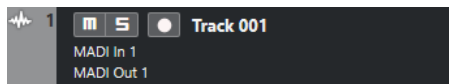
トラックリストの上部には、グローバルコントロールがあります。左側の数字はプロジェクト内のトラック数を表わします。「ミュート (Mute)」M および「ソロ (Solo)」S ボタンは、全トラックのミュートを解除したり、すべてのソロ状態を解除したりできます。右側の

「全トラック録音可能状態 (Record Enable All Tracks)」ボタン  の隣にある数字は、録音可能状態のトラック数を表わします。

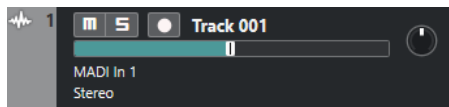
トラックコントロール

特定のトラックをミュート、ソロ、録音可能に設定できます。

「設定 (Settings)」ダイアログで「マルチトラックモード (Multi Track Mode)」を選択している場合、トラックが使用する入力ポートおよび出力ポートの名前が表示されます。

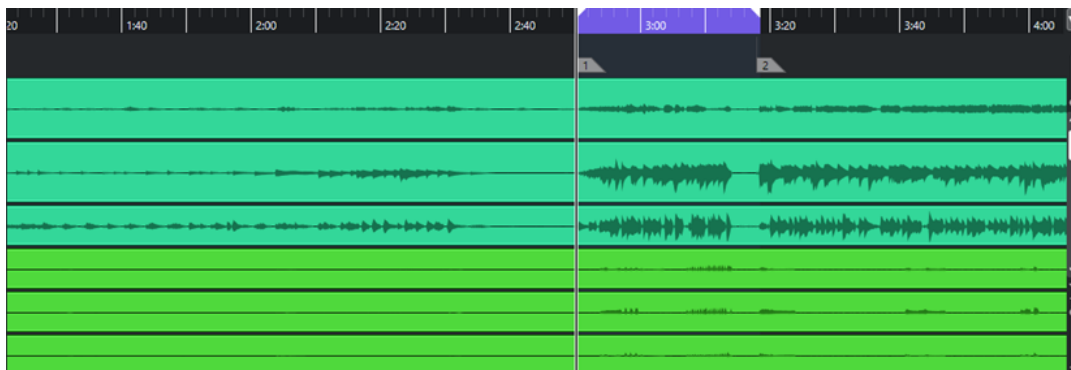


「設定 (Settings)」ダイアログで「ステレオモード (Stereo Mode)」を選択している場合、ステレオミックスにおけるトラックのボリュームとパンを設定できます。



イベントディスプレイ

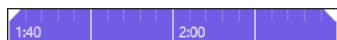
トラックリスト右側のイベントディスプレイには、オーディオイベントが表示されます。マーカートラックが表示されている場合は、マーカーも表示されます。ルーラー、ズームコントロール、プロジェクトカーソルを使用すると、プロジェクト内を容易に移動できます。



ルーラー

ディスプレイ上部のルーラーはタイムラインを表わします。ルーラーにある2つの三角形のマーカーはロケーターです。これでサイクル範囲を設定します。

ロケーター



左右ロケーターはサイクルモードの範囲を設定する1組のマーカーで、プロジェクトの一部をループ再生するために使用します。

波形ズームスライダー

イベントの内容を縦方向にズームするには、イベントディスプレイ右上角の波形ズームスライダーを使用します。

音量が小さいオーディオイベント/パートの表示に便利です。

補足

波形を表示させてオーディオイベントのレベルをチェックする際は、スライダーが一番下まで下がっていることを確認してください。そうでない場合、波形がクリッピングを起こしているように見える可能性があります。

プロジェクトカーソル

垂直のラインはプロジェクトカーソルです。このラインは、再生位置または録音位置を示します。再生または録音が停止しているときは、編集を実行する位置をプロジェクトカーソルで設定します。

補足

録音中、プロジェクトカーソルは移動できません。停止モードでは、タイムラインをクリックすることでカーソル位置を設定できます。ダブルクリックすると再生を開始/停止します。

ズームコントロール



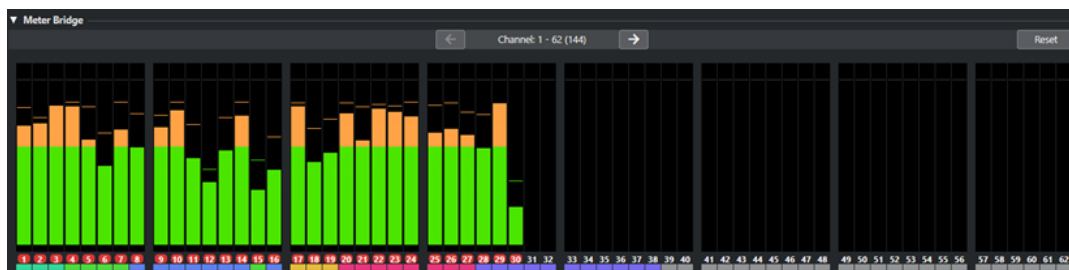
イベントディスプレイ右下隅の水平/垂直ズームスライダーを使用すると、メインディスプレイ内のズームを制御できます。

水平方向のズームスライダーの上の三角形をクリックすると、トラックの高さのプリセットを選択できるポップアップメニューが開きます。

垂直方向のズームスライダーの左の三角形をクリックすると、ズームのプリセットを選択できるポップアップメニューが開きます。

メーターブリッジ

このセクションにはプロジェクトの全トラックのメーターが表示されるため、入力チャンネルのレベルをモニタリングできます。

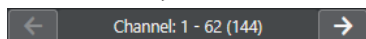


メーターブリッジを表示/隠す (Show/Hide Meter Bridge)



メーターブリッジの表示/非表示を切り替えます。

前のページを表示 (Show Previous Page)/次のページを表示 (Show Next Page)



メーターのページを前後に切り替えます。

補足

メーターのページは、**[Alt] + [P]** を押して切り替えることもできます。

リセット (Reset)

すべてのピークホールド値をリセットします。

メーターディスプレイ

チャンネルのレベルをモニターできます。

関連リンク

- [マーカートラックの表示/非表示 \(40 ページ\)](#)
- [「設定 \(Settings\)」 ダイアログ \(8 ページ\)](#)
- [オーディオイベントの編集 \(46 ページ\)](#)
- [メーターのリセット \(29 ページ\)](#)

プロジェクトカーソルを設定する

プロジェクトカーソルは、任意の位置でクリックして設定することも、あらかじめ位置を設定することもできます。

手順

- 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - **プロジェクトウィンドウのイベントディスプレイをクリックします。**
 - ツールバーの「**前のマーカー/プロジェクト開始位置へ移動 (Go to Previous Marker/Zero)**」または「**次のマーカー/プロジェクト終了位置へ (Go to Next Marker/Project End)**」をクリックします。
 - ツールバーの「**左ロケータ位置へ移動 (Go to Left Locator Position)**」または「**右ロケータ位置へ移動 (Go to Right Locator Position)**」をクリックします。
 - ルーラーの下部をクリックします。
 - キーボードショートカットを使用します。
-

関連リンク

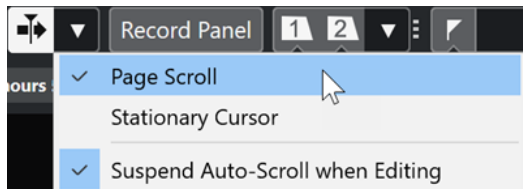
- [ツールバー \(18 ページ\)](#)
- [トラックビュー \(23 ページ\)](#)
- [プロジェクトカーソルをマーカーに移動する \(42 ページ\)](#)
- [キーボードショートカット \(12 ページ\)](#)

オートスクロール設定メニュー

「**オートスクロール (Auto-Scroll)**」をオンにすると、再生中にプロジェクトカーソルがウィンドウに常に表示されるようになります。

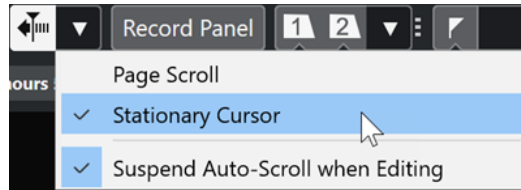
プロジェクトウィンドウまたはいずれかのエディターのツールバーで「**オートスクロール (Auto-Scroll)**」をオンにした場合、「**オートスクロール設定を選択 (Select Auto-Scroll Settings)**」ポップアップメニューで以下のモードが使用できます。

ページのスクロール (Page Scroll)



プロジェクトカーソルがウィンドウの左から右へと移動します。プロジェクトカーソルがウィンドウの右端に達すると、ルーラーとプロジェクトカーソルがウィンドウの左端にジャンプし、そこからまた始まります。この動作は本のページをめくる動きに似ています。

カーソルを中央に表示 (Stationary Cursor)



プロジェクトカーソルはウィンドウ中央に固定され、ルーラーが左にスクロールし続けます。

関連リンク

[ツールバー \(18 ページ\)](#)

[編集中はオートスクロール機能を停止する \(Suspend Auto-Scroll when Editing\) \(27 ページ\)](#)

編集中はオートスクロール機能を停止する (Suspend Auto-Scroll when Editing)

再生しながら編集を行なう際にプロジェクトウィンドウの表示をそのまま変更したくない場合は、「**編集中はオートスクロール機能を停止する (Suspend Auto-Scroll when Editing)**」をオンにしてください。

「**編集中はオートスクロール機能を停止する (Suspend Auto-Scroll when Editing)**」は、「**オートスクロール (Auto-Scroll)**」ボタンの右側にある「**オートスクロール設定を選択 (Select Auto-Scroll Settings)**」ポップアップメニューからオプションとして選択できます。

このオプションをオンにした場合、再生中にイベントディスプレイのどこかをクリックすると、再生を停止するか「**オートスクロール (Auto-Scroll)**」を再度クリックするまでオートスクロール機能が停止します。

視覚的な変化として、「**オートスクロール (Auto-Scroll)**」ボタンの色が変わります。

関連リンク

[ツールバー \(18 ページ\)](#)

ループ再生のサイクル範囲の設定

録音の任意の範囲をループ再生できます。

手順

1. ルーラーの上端部分にマウスポインターを合わせます。
マウスポインターが鉛筆の形状になります。
2. ループの開始位置をクリックしてから右にドラッグして、サイクル範囲を設定します。

結果

ツールバーで「**サイクルをオン (Activate Cycle)**」が有効になっている場合、選択範囲がループ再生されます。

範囲を再生から除外

ロケーターを使用して、録音の任意の範囲を再生から除外できます。

手順

1. ルーラーの上端部分にマウスポインターを合わせます。
マウスポインターが鉛筆の形状になります。

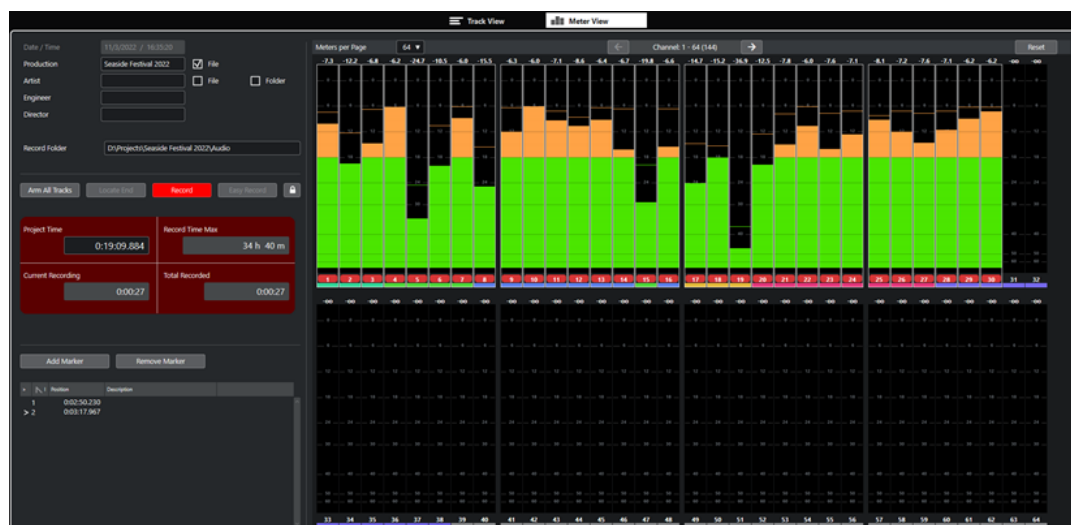
2. ルーラーをクリックしてから左にドラッグして、除外する範囲を指定します。

結果

ツールバーで「サイクルをオン (Activate Cycle)」が有効になっている場合、再生中は選択範囲がスキップされます。

メータービュー

「メータービュー (Meter View)」タブを選択すると、プロジェクトの全トラックのメーターが表示され、入力チャンネルのレベルをモニタリングできます。左側のパネルには、録音関連のパラメーターとコントロールがすべて表示されます。



録音パネル

「Record (録音)」パネル (別ウィンドウで開く) と同じパラメーターとコントロールを利用できます。

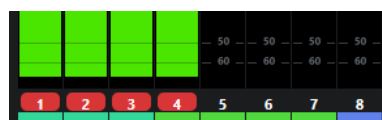
メーターディスプレイ

プロジェクトの全トラックのメーターを表示します。メーターのサイズに応じて、ピーク値とレベルスケールが数値で表示されます。

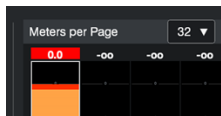
補足

メーターのサイズは、ウィンドウのサイズおよびページごとに表示されるメーター数によって決まります。

トラックが録音可能となっている場合は、対応するメーターの下のトラック番号が赤色で強調表示されます。



ピークオーバーロードが検出された場合、対応するメーターの上のピーク値が明るい赤色で強調表示されます。



ページごとのメーター数 (Meters per Page)

ページごとに表示されるメーター数を設定します。

前のページを表示 (Show Previous Page)/次のページを表示 (Show Next Page)

メーターのページを前後に切り替えます。

補足

メーターのページは、**[Alt]+[P]** を押して切り替えることもできます。

リセット (Reset)

すべてのピークホールド値をリセットします。

関連リンク

[録音パネル](#) (33 ページ)

[メーターのリセット](#) (29 ページ)

メーターのリセット

トラックビューまたはメータービューのすべてのメーターのピーク値をリセットできます。

手順

- 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - 「**リセット (Reset)**」をクリックします。
 - メーターを右クリックします。
 - **[Alt]+[S]** を押します。
-

関連リンク

[トラックビュー](#) (23 ページ)

[メータービュー](#) (28 ページ)

録音

Nuendo Live では、すべてのトラックですぐに録音を開始できます。必要に応じて、ファイル形式、録音位置、プリレコードバッファサイズ、録音から除外するトラックの指定、またはファイルのメタデータ情報とタイムコード情報の保存などを行なえます。

重要

パフォーマンスの低下や長時間録音中のスリープモードへの移行を防止するために、録音開始前にはコンピューターの省電力オプションをすべてオフにしてください。また、スクリーンセーバーをオフにすることもおすすめします。

関連リンク

[数ステップのシンプルな録音 \(30 ページ\)](#)

[より複雑な録音の実行 \(31 ページ\)](#)

[簡易録音 \(30 ページ\)](#)

[「録音 \(Record\)」パネルを使用した録音 \(31 ページ\)](#)

[MTC \(MIDI Timecode\) \(37 ページ\)](#)

数ステップのシンプルな録音

Nuendo Live では、シンプルないくつかのステップで録音を開始できます。

手順

1. Nuendo Live を起動します。
2. 新しいプロジェクトを作成します。
3. 「録音 (Record)」パネルを開いて、「録音 (Record)」をクリックします。
これにより、すべてのトラックが自動的に録音可能になります。すべてのトラックで録音が始まります。
4. 録音を停止するには、「録音 (Record)」をもう一度クリックします。

関連リンク

[新規空白プロジェクトを作成する \(15 ページ\)](#)

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

簡易録音

Nuendo Live では、「簡易録音 (Easy Record)」をクリックするかキーボードショートカットを使用することで、すぐに録音を開始できます。アーティストが録音準備の完了を待たずに演奏を開始するライブ演奏などの場合に便利です。

手順

1. 以下のいずれかを行ないます。
 - 「録音 (Record)」パネルまたはプロジェクトウィンドウの「メータービュー (Meter View)」タブの録音セクションで、「簡易録音 (Easy Record)」をクリックします。

- **[Ctrl]/[command]+[Return]** または **[Ctrl]/[command]+テンキー+[*]** を押します。

これにより、すべてのトラックが自動的に録音可能になり、録音が始まります。「録音をロック (Lock Recording)」がオンになり、すべての機能およびボタンをロックして、キーボードショートカットやマウスクリックによる意図しない操作を防止します。

2. 録音を停止するには、「録音をロック (Lock Recording)」をオフにして「録音 (Record)」をクリックします。

関連リンク

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

[キーボードショートカット \(12 ページ\)](#)

より複雑な録音の実行

Nuendo Live の個々の設定にはさまざまなオプションが用意されており、オーディオ録音をカスタマイズできます。たとえば、録音ファイルとともに自動的に保存される「アーティスト (Artist)」や「エンジニア (Engineer)」などのメタデータ、録音から除外するトラック、ファイル名、録音の保存先などを指定できます。

手順

1. Nuendo Live を起動します。
2. 新しいプロジェクトを作成します。
3. 「設定 (Settings)」ダイアログを開いて、プロジェクトおよび必要なオーディオ構成の変更を行います。

補足

「オーディオポート (Audio Ports)」セクションの有効になっている入力ポートそれぞれに対して、プロジェクトにトラックが作成されます。

4. 全トラックでの録音を行わない場合は、必要に応じて、トラックリストで「録音可能 (Record Enable)」ボタンをクリックして個々のトラックを録音可能にします。
5. 「録音 (Record)」パネルを開き、プロジェクトの要件に従ってパラメーターを設定します。
6. 録音を開始するには、「録音 (Record)」をクリックします。
7. 録音を停止するには、「録音 (Record)」をもう一度クリックします。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

「録音 (Record)」パネルを使用した録音

「録音 (Record)」パネルでは、関連するパラメーターを設定したり、録音を開始したりできます。

手順

1. 「録音 (Record)」パネルを開くには、ツールバーの「録音パネル (Record Panel)」をクリックします。
2. 録音するトラックを選択します。

- すべてのトラックを選択するには、「録音 (Record)」パネルの「**全 Tr をアーム (Arm All Tracks)**」をクリックします。
 - 個々のトラックを選択するには、「**トラックビュー (Track View)**」タブの対応するトラックコントロールを使用します。
3. 必要に応じて、「録音 (Record)」パネルで「**終了位置へ (Locate End)**」をクリックします。プロジェクトカーソルが最後の録音の終了位置に移動します。
 4. 必要に応じて、メタデータセクションで設定を行ないます。

補足

録音されたファイルとそれを保存するフォルダーの名前は、メタデータセクションの設定に基づいて付けられます。メタデータは録音セッション中でも変更できます。フォルダー名とファイル名は、録音を停止したときに変更されます。

5. 「録音 (Record)」をクリックします。
録音が始まり、プロジェクトウィンドウにオーディオイベントが作成されます。
 6. 必要に応じて、「録音をロック (Lock Recording)」をクリックします。
すべての機能とボタンがロックされて、キーボードショートカットやマウスクリックによる意図しない操作を防止します。
録音を停止する前には、インターフェースのロックを解除する必要があります。ロックを解除するには、「録音をロック (Lock Recording)」をもう一度クリックします。
 7. 録音を停止するには、「録音 (Record)」をクリックします。
-

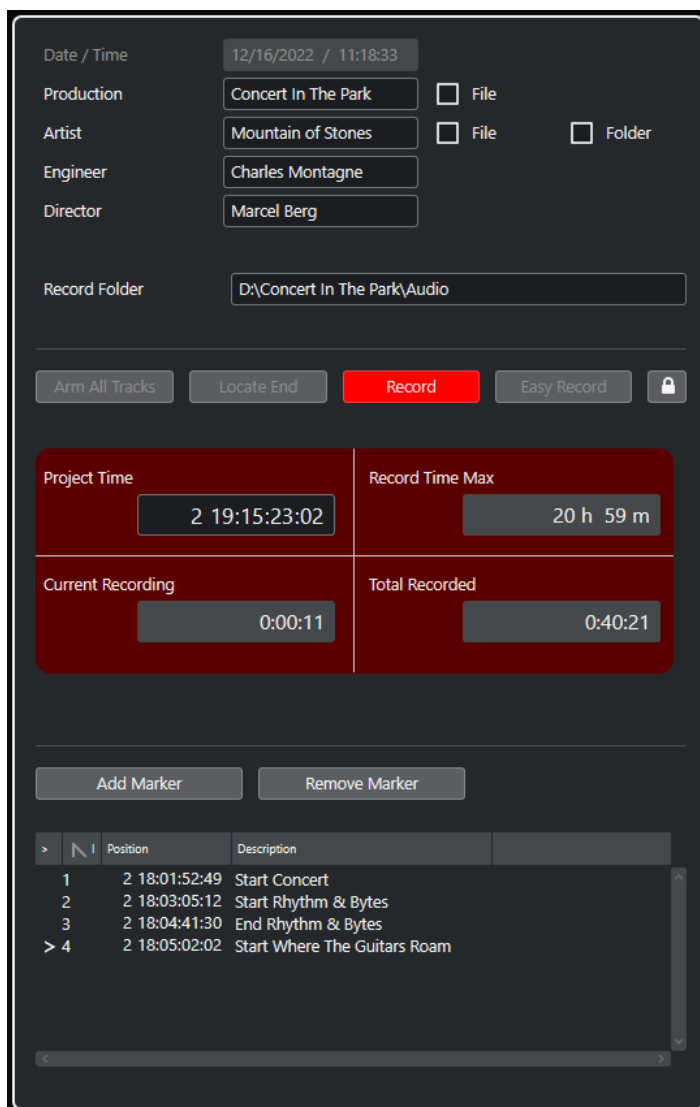
関連リンク

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

[キーボードショートカット \(12 ページ\)](#)

録音パネル

「録音 (Record)」パネルには、録音に関連したすべてのパラメーターとコントロールが表示されます。



メタデータセクション

上部のセクションに表示されるメタデータ情報は、Broadcast Wave ファイルに保存されます。

補足

- 「録音をロック (Lock Recording)」がオンになっている場合でも、録音セッション中にメタデータを変更できます。フォルダー名とファイル名は、録音を停止したときに変更されます。

日付 / 時間 (Date/Time)

現在の日時を表示します。

プロダクション (Production)

プロダクションの名前を入力できます。

この名前をファイル名に自動的に追加するには、「プロダクション (Production)」フィールドの右側の「ファイル (File)」をオンにします。

アーティスト (Artist)

アーティストの名前を入力できます。

この名前をファイル名に自動的に追加するには、「アーティスト (Artist)」フィールドの右側の「ファイル (File)」をオンにします。アーティスト名に基づく名前を付けたプロジェクトフォルダーのサブフォルダーに録音を保存するには、「フォルダー (Folder)」をオンにします。

エンジニア (Engineer)

プロジェクトのサウンドエンジニアの名前を入力できます。

ディレクター (Director)

プロジェクトのディレクターの名前を入力できます。

録音セクション

録音フォルダー (Record Folder)

録音を保存するフォルダーのパスを表示します。このフィールドをクリックすると、録音の保存先を変更できます。

全 Tr をアーム (Arm All Tracks)

オーディオ入力に割り当てられているすべてのオーディオトラックを録音可能/録音不可能にします。

終了位置へ (Locate End)

プロジェクトカーソルを最後の録音の終了位置に移動します。

録音 (Record)

録音を開始/停止します。

簡易録音 (Easy Record)

すべてのトラックの録音を開始して、「録音をロック (Lock Recording)」をオンにします。

録音をロック (Lock Recording)

「RECORD」ボタン操作をロック/ロック解除します。このボタンは録音中のみ利用できます。このボタンがオンになっている場合、機能とボタンはロックされ、キーボードショートカットやマウスクリックによる意図しない操作を防止します。録音を停止する前には、ユーザーインターフェースのロックを解除する必要があります。

タイムディスプレイセクション

プロジェクト時間 (Project Time)

プロジェクトカーソルの現在位置を表示します。

残り録音時間 (Record Time Max)

ハードディスクの空き領域を使って現在のプロジェクト設定で録音した場合に録音を行なえる最大時間を表示します。

補足

値は、現在録音に使用しているハードディスクの空き領域とプロジェクト内の総トラック数 (録音可能なトラック、不可能なトラック両方を含む) をもとに算出されます。

現在の録音時間 (Current Recording)

現在の録音時間を表示します。

合計録音時間 (Total Recorded)

現在のプロジェクトにおけるオーディオの合計録音時間を表示します。実際の録音時間だけが計算されます。録音と録音の間の一時停止時間はカウントされません。

マーカーセクション

マーカーを追加 (Add Marker)

プロジェクトカーソルの位置にマーカーを追加します。

マーカーを削除 (Remove Marker)

選択したマーカーを削除します。

マーカーリスト

タイムポジションに従いマーカーがリスト表示されます。

- 最初のコラムの大なり記号は、どのマーカーがアクティブであるかを示します。
- 「ID」コラムにはマーカー ID が表示されます。
- 「**ポジション (Position)**」コラムにはマーカー位置が表示されます。この値を変更するとマーカーが移動します。
- 「**内容 (Description)**」コラムには、マーカーの名前または説明を入力できます。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

[プロジェクトに関する情報 \(16 ページ\)](#)

[「録音 \(Record\)」パネルを使用した録音 \(31 ページ\)](#)

[録音の保存先を変更する \(35 ページ\)](#)

[簡易録音 \(30 ページ\)](#)

[マーカー \(40 ページ\)](#)

録音の保存先を変更する

録音フォルダーの位置はいつでも変更できます。これは、現在の保存先のディスクスペースが不足している場合などに便利です。

手順

1. 「録音 (Record)」パネルで、「録音フォルダー (Record Folder)」パスフィールドをクリックします。
2. ファイルダイアログで、以下のいずれかの操作を行ないます。
 - フォルダーを選択します。
 - 新規フォルダーを作成します。
3. 「OK」をクリックします。

結果

録音を開始すると、新規録音位置が使用されます。「アーティスト用サブフォルダーを作成 (Create Subfolder for Artist)」が「録音 (Record)」パネルでオンになっている場合、新規録音フォルダー内にサブフォルダーが自動的に作成されます。

補足

- プロジェクトのオーディオファイルには連続した番号が付与されます。これは保存先を変更した場合でも同様です。

- 別のシステムでプロジェクトが開かれているなどの理由で、アクティブな録音フォルダーが存在しない場合、保存先は自動的にプロジェクトフォルダーに設定されます。

関連リンク

[連続したファイル番号の付与 \(36 ページ\)](#)

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

連続したファイル番号の付与

プロジェクトのオーディオファイルには連続した番号が付与されます。これは録音位置を変更した場合でも同様です。この機能は、複数のフォルダーにあるファイルをあとから1つのフォルダーに移動させる場合に便利です。

プロジェクトの録音テイクにはグローバルに番録音番号が付与されます。録音可能になっていないトラックには、バックグラウンドで番号が付与されます。これにより、このトラックがそのあとのテイクで録音可能になった場合は、グローバルなテイク番号が適用されます。

録音の途中で新規にオーディオファイルが作成された場合は、以下の名前前の設定パターンが使用されません。

<トラック番号> - <トラック名>_<グローバルなテイク番号>

例

新しいプロジェクトで、トラック **1** に「**bass**」というオーディオトラックを録音します。その結果、「01 - bass_01.wav」という新しいファイルがターゲットフォルダーに作成されます。

保存先を別の空フォルダーに変更して次のテイクを録音すると、新しいフォルダー内の最初のファイルの名前が自動的に「01 - bass_02.wav」になります。

例

新しいプロジェクトで、トラック **1** に「**guitar**」というオーディオトラックを録音し、トラック **2** に「**bass**」というオーディオトラックを録音します。その結果、「01 - guitar_01.wav」と「02 - bass_01.wav」という2つの新しいファイルがターゲットフォルダーに作成されます。

2番目のテイクでトラック **2** を録音から除外すると、「01 - guitar_02.wav」というファイルが作成されます。

3番目のテイクでトラック **2** を再度録音可能にすると、「01 - guitar_03.wav」と「02 - bass_03.wav」というファイルが作成されます。

関連リンク

[録音の保存先を変更する \(35 ページ\)](#)

[トラック名を変更する \(44 ページ\)](#)

プリレコードバッファ

トラックを録音可能にすると、すべてのオーディオ入力が自動的にバッファに記録されます。これにより、録音開始が遅れてしまった場合でも演奏の開始部分を復帰できます。

すべての録音可能トラックに対し、最大60秒間のオーディオの記録と復帰ができます。

プリレコードバッファのサイズは、「設定 (Settings)」ダイアログの「オーディオシステム (Audio System)」セクション内の「プリレコード時間 (Pre-Record Time)」のパラメーターで設定できます。

- プリレコードオーディオを復帰させるには、イベントの開始位置の境界線を左にドラッグします。

補足

- プリレコード機能は、入力チャンネルごとに RAM を消費します。サンプリングレートが高いと (96kHz や 192kHz など)、コンピューターのメモリー量が不足してしまう可能性があります。一般に、プリレコード時間 1 分で、48kHz なら 1トラックあたり 8MB、96kHz なら 16MB 必要です。
- 64 以上のトラックを録音する場合、プリレコードの設定を高くしていると、ユーザーインターフェースのパフォーマンスが低下する可能性があります。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)
[オーディオイベントの編集 \(46 ページ\)](#)

MTC (MIDI Timecode)

ビデオが含まれるプロダクションには、通常、タイムコード情報が含まれます。Nuendo Live では、録音中に MIDI タイムコード (MTC) を保存することで、ポストプロダクションの際にオーディオのタイムラインとビデオのタイムラインを容易に一致させることができます。

Nuendo Live で MIDI タイムコードを使用する際には、以下のルールが適用されます。

- 入力される MIDI タイムコードは自動的に認識され、ツールバーに表示されます。
- タイムコード情報が Broadcast Wave フォーマット (BWF) ファイルのタイムスタンプに書き込まれます。
- 入力されるタイムコード情報によってトランスポート機能がロックされることはありません。つまり、タイムライン上をいつでも自由に移動し、どこからでも録音を開始できます。
- 誤ったタイムコード設定や入力されるタイムコード情報の破損によって Nuendo Live で録音を行えなくなることはありません。
- Steinberg Nuendo SyncStation を使用すると、たとえば LTC から MIDI タイムコードを生成できます。
- タイムコードまたは VST System Link による MIDI マシンコントロール (MMC) はサポートされていません。

関連リンク

[ツールバー \(18 ページ\)](#)
[MIDI タイムコード情報を含む録音 \(37 ページ\)](#)

MIDI タイムコード情報を含む録音

Nuendo Live では、MIDI タイムコード (MTC) を受信および記録できます。タイムコードが Broadcast Wave フォーマット (BWF) ファイルのタイムスタンプに書き込まれます。

前提条件

「設定 (Settings)」ダイアログの「プロジェクト (Project)」セクションで、「録音ファイル形式 (Record File Type)」を「Broadcast Wave ファイル (Broadcast Wave File)」に設定しておきます。

手順

1. ツールバーの「MTC」ボタンをクリックして、MIDI タイムコード情報を有効にします。
2. 「MTC」ボタンの右側にあるタイムコードディスプレイをクリックし、MIDI タイムコードの入力ソースを選択します。
3. 録音を開始します。

結果

MIDI タイムコード情報を含んだ BWF ファイルが保存されます。

関連リンク

[MTC \(MIDI Timecode\) \(37 ページ\)](#)
[「設定 \(Settings\)」 ダイアログ \(8 ページ\)](#)
[ツールバー \(18 ページ\)](#)

録音の書き出し

Nuendo Live では、録音をオーディオミックスダウンまたは AAF ファイルとして書き出せます。

関連リンク

[オーディオミックスダウンの書き出し \(38 ページ\)](#)
[AAF への書き出し \(39 ページ\)](#)

オーディオミックスダウンの書き出し

録音からステレオミックスを作成し、1つのファイルとして書き出せます。

前提条件

「**設定 (Settings)**」 ダイアログで「**ステレオモード (Stereo Mode)**」を選択しておきます。

手順

1. トラックコントロール領域の「**ステレオミックスでの音量 (Volume in Stereo Mix)**」スライダーと「**ステレオミックスのパン (Pan in Stereo Mix)**」ダイヤルを使用して、ミックスバランスを調整します。
2. 情報ラインの「**ステレオ出力レベル (Stereo Output Level)**」グローバルスライダーを使用してマスターレベルを設定します。
3. 必要に応じて、プロジェクトの特定の範囲だけを書き出す場合は、左右のロケーターを設定して範囲指定します。
4. 「**ファイル (File)**」 > 「**オーディオミックスダウン (Audio Mixdown)**」を選択します。
5. 録音を .mp3 ファイルと .wav ファイルのどちらで保存するかを指定します。
6. プロジェクト全体を書き出すか、サイクル範囲のみ書き出すかを選択します。
7. 「**OK**」をクリックします。

結果

プロジェクト全体または指定した範囲が、1つのファイルとしてプロジェクトフォルダーに書き出されます。ミックスダウンファイルには、プロジェクトと同じ名前が割り当てられます。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」 ダイアログ \(8 ページ\)](#)
[ループ再生のサイクル範囲の設定 \(27 ページ\)](#)

AAF への書き出し

Nuendo 以外の DAW ソフトウェアで録音の編集を行なうには、プロジェクトを AAF ファイルとして書き出します。

前提条件

「設定 (Settings)」ダイアログの「プロジェクト (Project)」セクションで、「録音ファイル形式 (Record File Type)」を「Broadcast Wave ファイル (Broadcast Wave File)」に設定しておきます。

手順

- 「ファイル (File)」 > 「AAF ファイルを書き出し (Export AAF File)」を選択します。

結果

プロジェクトが 1 つの AAF ファイルとしてプロジェクトフォルダーに書き出されます。

重要

AAF ファイルには、プロジェクトで使用されるオーディオファイルへの参照だけが格納されます。書き出したあとにプロジェクトを編集するには、DAW からオリジナルのオーディオファイルにアクセスする必要があります。

関連リンク

[「設定 \(Settings\)」ダイアログ \(8 ページ\)](#)

マーカー

マーカーはプロジェクト内の特定の位置を識別します。マーカーを追加することで、長時間の録音でオーディオの開始位置と終了位置を設定したり、編集位置をマーキングしたりできます。

「録音 (Record)」パネルまたはマーカートラックを使用して、マーカーを追加および編集できます。

関連リンク

[録音パネル](#) (33 ページ)

[マーカートラックの表示/非表示](#) (40 ページ)

マーカートラックの表示/非表示

トラックビューのマーカートラックを表示するか非表示にするかを選択できます。この表示設定はマーカーの機能には影響しません。プロジェクトウィンドウに表示されていない場合でも、既存のマーカーを使用できます。

手順

- 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - メニューバーで「プロジェクト (Project)」 > 「マーカートラックを表示 (Show Marker Track)」 / 「マーカートラックを隠す (Hide Marker Track)」を選択します。
 - **[K]** を押します。

結果

オーディオトラックの上にあるトラックリストでマーカートラックの表示/非表示が切り替わります。

関連リンク

[トラックビュー](#) (23 ページ)


[ツールバー](#) (18 ページ)

マーカーの追加

「録音 (Record)」パネルまたはマーカートラックを使用して、マーカーを追加できます。

マーカーはカーソル位置に追加されます。録音中または録音後にマーカーを設定できます。

手順

- 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - 「録音 (Record)」パネルで、「マーカーを追加 (Add Marker)」をクリックします。編集用の「内容 (Description)」フィールドが自動で開くので、マーカー名を入力します。
 - マーカートラックで「マーカーを追加 (Add Marker)」  をクリックします。

結果

マーカーがカーソル位置に追加されます。

関連リンク

- [「録音 \(Record\)」パネルを使用した録音 \(31 ページ\)](#)
- [マーカートラックの表示/非表示 \(40 ページ\)](#)
- [マーカーに名前を付ける \(41 ページ\)](#)

マーカーに名前を付ける

「録音 (Record)」パネルでマーカーに名前を付けたり、名前を変更したりできます。

手順

- 「録音 (Record)」パネルで、名前を付ける、または名前を変更するマーカーを選択します。
 - 「内容 (Description)」フィールドをクリックし、マーカーの新しい名前を入力します。
-

関連リンク

- [録音パネル \(33 ページ\)](#)

マーカーの移動

「録音 (Record)」パネルまたはマーカートラックを使用してマーカーを移動できます。

手順

- マーカーを移動するには、以下のいずれかの操作を行ないます。
 - 「録音 (Record)」パネルで、対応する「ポジション (Position)」フィールドをクリックし、新しい値を入力します。
 - マーカートラック上でマーカーをドラッグして、別の位置に移動します。
-

関連リンク

- [録音パネル \(33 ページ\)](#)
- [マーカートラックの表示/非表示 \(40 ページ\)](#)

マーカーの削除

「録音 (Record)」パネルまたはマーカートラックを使用して、マーカーを削除できます。

手順

- 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - 「録音 (Record)」パネルでマーカーを選択して、「マーカーを削除 (Remove Marker)」をクリックします。
 - マーカートラック上でマーカーを選択し、**[Delete]** を押します。
-

関連リンク

- [録音パネル \(33 ページ\)](#)
- [マーカートラックの表示/非表示 \(40 ページ\)](#)

プロジェクトカーソルをマーカーに移動する

Nuendo Live では、複数の方法でプロジェクトカーソルをマーカー位置へ移動できます。

手順

- 以下のいずれかの操作を行ないます。
 - マーカートラック上で「**場所 (Locate)**」をクリックし、リストからマーカーを選択します。
 - マーカートラック上のマーカーをダブルクリックします。
 - ツールバーで「**マーカー位置へ (Locate Marker)**」をクリックし、リストからマーカーを選択します。

補足

マーカーのリストが非常に長い場合、テキスト検索を使用してリストをフィルタリングできます。

- 「**録音 (Record)**」パネルで、マーカーの一番左の列をクリックします。
 - 次のマーカーへ移動するには、ツールバーの「**次のマーカー/プロジェクト終了位置へ (Go to Next Marker/Project End)**」をクリックします。
 - 前のマーカーへ移動するには、ツールバーの「**前のマーカー/プロジェクト開始位置へ移動 (Go to Previous Marker/Zero)**」をクリックします。
-

関連リンク

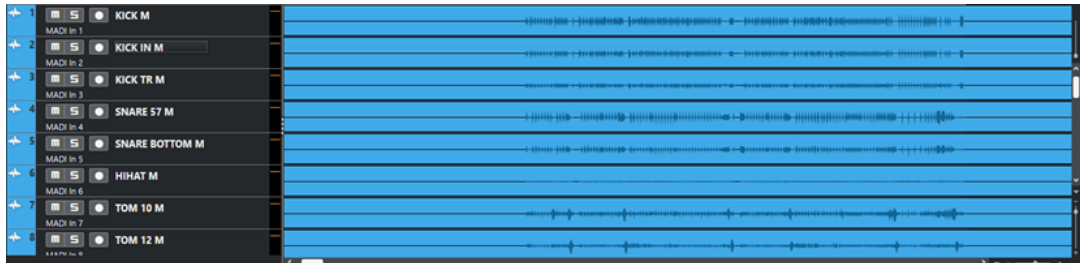
[マーカートラックの表示/非表示 \(40 ページ\)](#)

[録音パネル \(33 ページ\)](#)

[ツールバー \(18 ページ\)](#)

トラックの操作

トラックでは、オーディオの録音と編集が行なえます。トラックは、トラックリストに上から下へとリストされ、「**トラックビュー (Track View)**」タブの横幅いっぱいに表示されます。



トラックリストのトラック

関連リンク

- [トラックビュー \(23 ページ\)](#)
- [トラックを選択する \(43 ページ\)](#)
- [トラック名を変更する \(44 ページ\)](#)
- [トラックとイベントの表示色の指定 \(44 ページ\)](#)
- [トラックの追加 \(44 ページ\)](#)
- [トラックのルーティングの変更 \(45 ページ\)](#)

トラックを選択する

プロジェクトウィンドウでは、少なくとも1つのトラックが常に選択されています。トラックを選択する方法は複数あります。

手順

- 以下のいずれかを行ないます。
 - トラックを1つ選択する場合は、トラックリストでトラックをクリックするか、対応するメーターをクリックします。
 - 複数のトラックを選択する場合は、**[Ctrl]/[command]** キーを押しながらトラックを順次クリックします。
 - 複数の連続したトラックを選択する場合は、1つめのトラックを選択し、**[Shift]** を押しながらから選択する最後のトラックをクリックします。
 - 選択中のトラックの真上または真下のトラックを選択する場合は、上下の矢印キーを押します。
 - 選択範囲を上下に拡張する場合は、**[Shift]** を押しながらから矢印キーを押します。

トラック名を変更する

録音するインストゥルメントなどに合わせてトラック名を変更できます。これにより、プロジェクトの概要が把握しやすくなります。

手順

1. トラック名をダブルクリックして、新しい名前を入力します。
2. 必要に応じて、**[Tab]** を押して次のトラック名を選択し、同様にプロジェクトのトラック名を指定していきます。

補足

録音したイベントの名前は、トラック名に基づいています。ただし、トラック名を変更しても、トラック上の既存のイベントとファイルの名前は変わりません。

トラックとイベントの表示色の指定

表示色を指定すると、同じグループのトラックとイベントを識別できます。

手順

1. **トラックビュー**で、以下のいずれかの操作を行ないます。
 - トラックの表示色を指定するには、トラックを選択し、イベントが選択されていないことを確認します。
 - イベントの表示色を指定するには、イベントを選択します。
2. ツールバーで「**選択したトラックまたはイベントのカラーを選択 (Select Color for Selected Tracks or Events)**」をクリックし、色を選択します。

結果

トラックとイベントが選択した色で表示されます。メーターには、対応するトラックの色が使用されません。

関連リンク

[トラックビュー \(23 ページ\)](#)

トラックの追加

1 つまたは複数のトラックを、Nuendo Live プロジェクトに 1 ステップで追加できます。

手順

1. 「**プロジェクト (Project)**」 > 「**オーディオトラックを追加 (Add Audi Tracks)**」を選択します。
 2. 追加するオーディオトラックの数を指定します。
 3. 「**OK**」をクリックします。
-

トラックのルーティングの変更

Nuendo Live では、トラックは上から順に、利用できる入力バスにルーティングされます。トラックをドラッグすると、ルーティングをトラックリストの別の位置に移動できます。この操作は、たとえば、楽器がコンソールの別の入力ポートに接続されているときに必要になる場合があります。

オーディオイベントの編集

Nuendo Live では、編集オプションおよび編集ツールを使用してプロジェクトをより効率的に管理できます。これにより、後の編集をお好みの DAW で簡単に行なえます。

さらに編集を行なうためにプロジェクトを別の DAW に移動する場合は、移動前に録音をクリーンアップすることをおすすめします。

関連リンク

- [イベントの選択 \(46 ページ\)](#)
- [イベントと選択範囲の移動 \(48 ページ\)](#)
- [イベントと選択範囲の複製 \(48 ページ\)](#)
- [イベントを分割する \(47 ページ\)](#)
- [イベント開始位置と終了位置のトリミング \(47 ページ\)](#)
- [トラックとイベントの表示色の指定 \(44 ページ\)](#)

グローバル編集

編集操作を 1 つのトラックだけに適用するか、すべてのトラックに適用するか選択できます。

初期設定では、編集操作は、選択したイベント、選択範囲、またはツールで選択したイベントに適用されます。「編集 (Edit)」 > 「グローバルエディット (全トラック) (Global Editing (All Tracks))」を選択すると、すべてのトラックに対して編集を同時に実行できます。

イベントの選択

ツールバーで「オブジェクトの選択 (Object Selection)」ツールをオンにすると、イベントディスプレイから編集するオーディオイベントを選択できます。

関連リンク

- [ツールバー \(18 ページ\)](#)

カーソル位置にあるすべてのイベントの選択

特定のタイムポジションにあるすべてのイベントを選択できます。これで、同じグループのすべてのイベントに対して同じ編集操作を簡単に適用できるようになります。

前提条件

ツールバーで、「オブジェクトの選択 (Object Selection)」  をオンにしておきます。

手順

1. イベントを選択したい位置にプロジェクトカーソルを合わせます。
2. 「編集 (Edit)」 > 「カーソル下を選択 (Select Under Cursor)」を選択します。

結果

プロジェクトカーソルに接しているすべてのオーディオイベントとマーカーが選択されます。

関連リンク
[ツールバー \(18 ページ\)](#)

イベントを分割する

1つのオーディオイベントを分割したり、すべてのオーディオイベントを同時に分割したりできます。

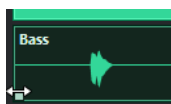
- オーディオイベントを分割するには、**[Alt]** を押しながらイベントにカーソルを合わせてクリックします。
- 特定のタイムポジションにあるすべてのオーディオイベントを分割するには、この位置にプロジェクトカーソルを合わせて「**編集 (Edit)**」 > 「**カーソル位置で分割 (Split at Cursor)**」を選択します。

イベント開始位置と終了位置のトリミング

イベントの境界線をドラッグして録音のセクションを隠したり、プリレコードバッファからオーディオを復帰させたりできます。

手順

1. マウスを、イベントの右下角または左下角に合わせます。
マウスポインターが左右を指す矢印に変わります。



2. クリックしてドラッグします。
ドラッグできる最長の距離は録音時間に応じて異なります。オーディオ録音の開始位置または終了位置を越えてイベントを広げることができません。

補足

マウスボタンを放すと、サウンドの移行をなめらかにするために 10ms のフェードが追加されます。

関連リンク
[プリレコードバッファ \(36 ページ\)](#)

範囲の選択

プロジェクト内の範囲を選択して編集できます。複数のトラックにまたがる範囲を編集することもできます。

前提条件

ツールバーで、「**範囲選択 (Range Selection)**」 をオンにしておきます。

手順

- 範囲を選択するには、イベントディスプレイ内でクリックし、選択範囲を囲むようにドラッグします。
-

手順終了後の項目

- 選択範囲の境界線をドラッグして範囲を拡大/縮小したり、含めるトラック数を増減したりできます。
- 選択範囲をドラッグすることで、選択位置を移動できます。

補足

選択範囲にイベントのセクションが含まれている場合、選択範囲の境界線の位置でイベントが分割されます。

関連リンク

[ツールバー](#) (18 ページ)

[イベントと選択範囲の移動](#) (48 ページ)

[イベントと選択範囲の複製](#) (48 ページ)

イベントと選択範囲の移動

イベントと選択範囲をドラッグして移動できます。

手順

1. 複数のオーディオイベントまたは範囲を選択します。
 2. イベントまたは範囲を任意の位置にドラッグします。
-

イベントと選択範囲の複製

イベントや選択範囲を複製し、複数の場所で同じ録音を使用できます。

手順

1. 複数のオーディオイベントまたは範囲を選択します。
 2. 以下のいずれかを行ないます。
 - 「編集 (Edit)」 > 「複製 (Duplicate)」を選択します。
これにより、元のイベントまたは範囲の右側に複製が作成されます。
 - **[Alt]** を押しながら、イベントまたは範囲を挿入したい位置へドラッグします。
-

索引

A

AAF 39

M

MIDI タイムコード 37

MTC 37

い

イベントディスプレイ 23

お

オーディオイベント

移動 48

色を付ける 44

カーソル位置のイベントをすべて選択 46

グローバル編集 46

コピー 48

選択 46

トリミング 47

複製 48

分割 47

編集 46

オーディオパフォーマンス 7, 21, 30, 36

オーディオポート

出力 8

入力 8

有効化 8

オーディオミックスダウン 38

オートスクロール 27

停止 27

オブジェクトの選択 46

か

書き出し

AAF 39

オーディオミックスダウン 38

簡易録音 30

き

キーボードショートカット 12

け

言語 12

さ

サイクル範囲 27

再生

サイクルモード 27

設定 8

範囲の除外 27

し

システム

再生用に設定する 8

録音用に設定する 7

出力モード 8

す

ステレオモード 8

せ

設定

オーディオコネクション 8

オーディオポート 8

再生 8

システム 8

出力モード 8

プロジェクト 8

録音 7

設定ダイアログ 8

全般的な設定

オーディオコネクション 8

オーディオ設定 8

オーディオポート 8

言語 12

出力モード 8

た

タイムコード 37

つ

ツールバー 18

分割線 21

ツールバーの分割線 21

て

テンプレート 15, 16

と

トラック

色を付ける 44

グローバル編集 46

選択 43

トラック (続き)
追加 44
名前の変更 44
マーカートラック 40
ルーティング 45
トラックビュー 23
トラックリスト 23

の

ノートパッド 16

は

範囲

移動 47, 48
コピー 48
作成 47
選択 47
トリミング 47
複製 48

ふ

プリレコード時間 36
プリレコードバッファー 36
プロジェクト 13
新規作成 15
テンプレート 13, 15
テンプレートを使用して新規作成する 16
ノートパッド 16
開く 13
プロジェクトに関する情報 16
メタデータ 16
プロジェクトウィンドウ 17
情報ライン 22
ツールバー 18
トラックビュー 23
メータービュー 28
プロジェクトカーソル 26
分割線
ツールバー 21

へ

編集集中はオートスクロール機能を停止する 27

ほ

ポジションマーカー 40

ま

マーカー 40
移動 41
削除 41
追加 40
名前を付ける 41
場所 42
マーカートラック 40
マルチトラックモード 8

め

メーター 28
メータービュー 28
メーターブリッジ 23
メタデータ
ノートパッド 16
録音パネル 33

ゆ

ユーザーインターフェース 17

ろ

録音 30
MIDI タイムコード 37
MTC 37
簡易録音 30
設定 7
ファイル番号の付与 36
保存先 35
保存先の変更 35
録音パネル 33
録音フォルダー 35
録音パネル 33